

高温に伴う農作物及び家畜の管理対策の徹底について

9月6日に新潟地方気象台より「長期間の高温に関する北陸地方気象情報第2号」が発表されました。今後も1か月程度は気温が高い状態が続くと見込まれますので、次の管理対策を徹底願います。

1 水稲

- (1) 「コシヒカリ」は成熟期を迎えているため、速やかに刈り取り、胴割米の発生を防ぐ。
- (2) 「富富富」や晩生品種は、成熟期が早まわると予想されるため、早めに籾の黄化状況を確認し、刈り遅れないよう注意する。
- (3) 乾燥作業では、適正な送風温度や二段乾燥等により、胴割米及び過乾燥米の発生を防ぐ。

2 大豆

- (1) 子実肥大期まで晴天が3日以上続く場合は、積極的に畦間かん水を行う。
- (2) カメムシ類の発生がみられた場合は、速やかに防除を行う。

3 野菜

- (1) 施設栽培では、異常高温にならないよう遮光や換気、こまめなかん水を徹底する。
- (2) 白ねぎでは、高温時の土寄せは行わない。
- (3) キャベツでは、カルシウム欠乏症の発生を防ぐため、土壌が乾燥している場合はうね間かん水を行うとともに、水溶性カルシウム剤（カルプラス500倍液等）を葉面散布する。
- (4) ヤガ類やアザミウマ類、ハダニ類等の発生がみられた場合は、速やかに防除を行う。

4 果樹

- (1) カメムシ類やハダニ類の発生がみられた場合は、速やかに防除を行う。
- (2) りんご等の果実では、日焼け果が混入しないよう選別に留意する。

5 花き

- (1) 切り花の収穫は涼しい時間帯に行うとともに、前処理剤を用いて十分に水揚げを行い、鮮度保持に努める。
- (2) 球根類は、貯蔵庫内が高温になり過ぎないように風通しをよくするとともに、腐敗球等の除去を徹底する。
- (3) 施設栽培では、異常高温にならないよう遮光や換気、こまめなかん水を徹底する。
- (4) ヤガ類やアザミウマ類、ハダニ類等の発生がみられた場合は、速やかに防除を行う。

6 家畜

- (1) 畜舎内の温度を下げるため、送風機・換気扇や細霧装置を活用する。
- (2) 給水器を清潔に保ち、新鮮な水（冷水）を十分に給与する。
- (3) 高温により飼料が変質・腐敗していないか確認し、良質飼料の給与に努める。
- (4) 家畜をよく観察し、異常畜の早期発見・早期治療に努める。

7 農作業安全

農作業に当たっては、こまめに水分を補給するなど、熱中症等に十分に留意する。

【事務担当】

研究普及・スマート農業振興係 (076)444-3277
広域普及指導センター (076)429-5042